



米田のFP通信

ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

早いもので今年もあとわずかです。皆さんにとって2022年はどのような年でしたか？

2月には北京で冬季オリンピックが開催されました。日本は冬季では最多の18個のメダルを獲得、昨年の東京オリンピックに続き日本選手の活躍には元気づけられましたね。

しかしながらオリンピック直後にはロシアによるウクライナ侵攻、10月には一時1ドル150円台になる急激な円安、そして物価高、と2022年は波乱の年だったように思います。

来年は落ち着いた良い年になると良いですね。



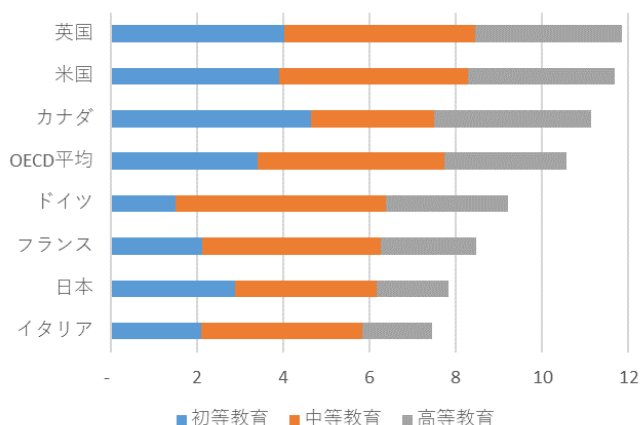
今月号のちょっと気になるお金のコラム

今月は宝くじを買おうと思っている人も多いかもしれませんね。ところで1等が当たる確率は何%ぐらいかご存じですか？

大きい大学費用負担

OECDは10月、「Education at a Glance（図表でみる教育2022）」を公表しました。

下図はG7各国の政府支出に対する公的な教育支出の割合です（OECD報告書データより作成）。OECD平均10.5%に対して日本は7.8%とかなり少なくなっていることがわかります。そのため特に高等教育段階では私費負担の割合が高くなっています。



そんな中、奨学金を利用する学生も増えていますが、300万円を超える借金を抱えて社会人になる事への不安も大きいようです。今年に入り「出世払い型奨学金」制度について議論されているのもこのようなことが背景にあるからです。

親の負担は勿論、将来の子どもの負担を少なくするためにも早い時期からの準備が大切になりますね。



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪府天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム

宝くじの起源

12月には宝くじを購入する人もいるかもしれませんね。

日本における宝くじの発祥は箕面（大阪府）の龍安寺と言われています。正月に参詣した人が、自分の名前を書いた木札を唐びつの中に入れ、それを寺僧がキリで3回突き、3人の“当せん者”を選び、福運の“お守り”を授けたのが起こりと言われています（宝くじ公式サイトより引用）。

宝くじが当たる確率は

今年の年末ジャンボ宝くじの1等は7億円です。当たったら何に使おうか、と夢が膨らみますね。では1等が当たる確率は何%ぐらいでしょうか？

宝くじ公式サイトによると今年の販売枚数は1ユニット2000万枚、上限23ユニットのようです。下表はユニット当たりの当選額と当選本数です。

等級等	当せん金	本数	
1等	700,000,000	1	700,000,000
1等の前後賞	150,000,000	2	300,000,000
1等の組違い賞	100,000	199	19,900,000
2等	10,000,000	4	40,000,000
3等	1,000,000	40	40,000,000
4等	50,000	2,000	100,000,000
5等	10,000	60,000	600,000,000
6等	3,000	200,000	600,000,000
7等	300	2,000,000	600,000,000
当せん金合計			2,999,900,000

つまり1等が当たる確率は、 $1/2000$ 万、 0.00000005% です。ちなみに飛行機が墜落する確率は 0.0009% 程度だそうです。

2000万枚買えばすべての当せん金をもらうことができます。当せん金の合計は2,999,900,000円、購入額の合計は60億円（300円×2000万枚）と購入額の約半分しか戻ってきません（ここから経費を引いた金額が様々な事業に使われます）。

7億円という大きなお金を得ることができるという夢がある一方、300円で買った宝くじは買った瞬間に確率的には半値になると思うと少し冷めてくる人もいるかもしれませんね。

高額当選した人だけがもらえるもの

高額当選した人は当選金のほかに「【その日】から読む本」という冊子が配布されます。

- 当せん証明書の発行を依頼しておく
- 後悔するような軽はずみな言動に注意する
- 当せん直後は、興奮状態にあるという自覚を
- 興奮の後に訪れる不安は、以前の自分に戻るための通過点
- ひとりでも人に話せば、うわさが広まるのは覚悟しよう

このような、突然大きなお金を手にした人特有の項目以外に

- 住宅、教育、老後で必要なお金を考える
- 贈与税について知っておく
- もしもの時のために遺言状を作る

などの項目も記載されているそうです。なぜか生命保険を考える時と同じような項目ですね。

宝くじに当たった人も当たらなかった人も、年末年始には、将来のお金の使い道などについて考えてみてはいかがでしょうか？